

静岡県月例経済報告

(平成27年8月号)

……平成27年6月を中心とした県内経済のすがた……

No. 472

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	12
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成27年6月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成27年6月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつあるが、弱めの動きもみられる。

先行きについては、堅調な設備投資などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産での弱めの動きと海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直しの動きがみられる。
- ・ 生産は、弱めの動きがみられる。

需要面

◎個人消費は、持ち直しに向けた動きに一服感がみられる。

大型小売店販売額(6月)は、百貨店、スーパーがいずれも3か月ぶりに前年実績を下回ったことから、総額でも3か月ぶりに前年実績を下回った。

自動車(新車)新規登録台数(6月)は、乗用車が2か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車が6か月連続で前年実績を下回ったことから、総数でも15か月連続で前年実績を下回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(6月)は、持家が3か月ぶり、分譲住宅が2か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月ぶりに前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を下回った。

公共工事請負金額(6月)は、6か月連続で前年実績を下回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成27年7月1日)の27年度設備投資計画は、製造業、非製造業ともに増加する計画となっており、全産業でも増加する計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(6月)は、7か月連続で前年実績を下回った。

◎輸出は、持ち直しの動きがみられる。

輸入は、前年を下回った。

輸出総額(6月)は、エアコンが8か月連続、自動車は2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機が3か月ぶり、自動車の部分品が5か月ぶり、二輪自動車類が12か月連続、科学光学機器が4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも3か月ぶりに前年実績を上回った。

また、輸入総額(6月)は、原動機や木材が前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

なお、輸出入のバランスは、872億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、弱めの動きがみられる。

鉱工業生産指数(5月)は、輸送機械工業やパルプ・紙・紙加工品工業などで前年水準を下回ったことから、総合でも11か月連続で前年水準を下回った。また、6か月ぶりに前月を下回った。

また、産業用大口電力消費量(6月)は、11か月連続で前年実績を下回った。

なお、鉱工業在庫指数(5月)は、総合では3か月連続で前年水準を上回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率(6月)は1.16倍で、前月を0.01ポイント上回り、17か月連続で1倍を上回った。また、6か月連続で全国値を下回った。

雇用保険受給者実人員(6月)は、23か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数(5月)は、3か月連続で前年水準を下回った。

その他

◎物価は、前年を下回った。

消費者物価指数(7月)は、総合で103.4となり、前年水準を下回った。

また、前月比は0.4%下落した。

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高(6月)は、前年同月比1.9%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額(6月)は、前年同月比5.8%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額ともに前年を下回った。

企業倒産(7月)は、件数は23件、負債総額は前年同月比5.2%減と、いずれも前年実績を下回った。

◀ 県の取組 ▶

【 ふじのくに名産品 『ふるさと割』 販売中! 】

県は、県産品の全国に向けた販路拡大を図るため、割引販売『ふるさと割』を実施しています。ふるさと割の対象商品は、首都圏の百貨店やインターネット通販サイトなどでお買い求めいただけます。



(全国共通の『ふるさと割』マーク)

■ふるさと割とは

ふるさと割は、国の交付金を活用し、消費者の皆さまに本県の誇る農林水産物や加工食品、工芸品などを割引価格でお求めいただける仕組みです。

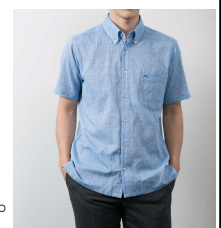
■通常価格から3割引で販売

県は、県内で生産・製造され、国内外に誇りうる価値や特長を備えた農林水産物や加工食品、工芸品などを認定・表彰しています。

これらの県産品の消費喚起・知名度向上、全国に向けた販路の拡大・定着を図るため、平成28年2月末まで、『ふるさと割』を実施します。対象商品を、**通常価格から3割引**でお買い求めいただけます。

■対象商品 (一部抜粋)

県認定・表彰制度	商品例
しずおか食セレクション しずおか農林水産物認証商品	お茶、メロン、みかん、いちご、わさび、静岡そだち(牛肉)、金豚王(豚肉)、うなぎ等
ふじのくに新商品セレクション 水産加工品総合品評会受賞商品	三ヶ日みかん・寿太郎みかん加工品、菓子類、しらす加工品、削り節、干物、煮物等
グッドデザインしずおか選定品 ふじのくにシャツ	寝具、茶器、駿河塗下駄、武瀬衣、焼津魚河岸シャツ等



■販売店舗等

首都圏の百貨店やインターネット通販サイトなどで、『ふるさと割』を実施しています。ふるさと割マークが目印です。

なお、店舗により取扱商品が異なるので、ご注意ください。詳しくは、下記から検索を。

静岡県マーケティング推進課

検索



<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-110/furusatowari.html>

Ⅱ 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

6 月 = 34,836百万円

*前年同月比： 0.7%減

(県内3百貨店、142スーパー合計)

<概況>

6月の大型小売店販売額は34,836百万円で、前年同月比0.7%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比0.3%減）、スーパー（同0.8%減）がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。

商品別では、身の回り品（同2.6%増）、飲食料品（同0.8%増）がいずれも3か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同7.1%減）、家庭用品（同0.5%減）がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は2.1%減となり、3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額(百万円)	36,376	45,063	37,943	32,103	35,890	34,501	36,199	34,836
前年同月比(%)	▲0.9	▲1.0	▲0.6	▲0.7	▲13.9	6.3	4.0	▲0.7
うち百貨店(%)	▲1.9	▲1.3	▲2.5	▲3.7	▲24.4	16.1	5.0	▲0.3
スーパー(%)	▲0.6	▲0.9	▲0.1	0.0	▲10.5	4.2	3.8	▲0.8
(参考1)全国前年同月比(%)	1.2	0.1	0.0	1.3	▲13.0	8.6	5.3	▲0.3
うち百貨店(%)	1.5	0.6	▲0.4	3.5	▲17.7	13.7	6.3	0.4
スーパー(%)	1.0	▲0.2	0.3	0.2	▲10.1	6.3	4.8	▲0.6
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲0.2	▲0.6	▲0.8	▲1.4	▲13.6	5.6	2.7	▲2.1

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	▲7.0	▲4.9	▲6.6	▲3.4	▲17.8	8.6	6.2	▲7.1
うち紳士服・洋品	▲7.1	▲5.1	▲7.5	▲1.3	▲12.8	6.4	7.3	▲7.6
婦人・子供服・洋品	▲6.4	▲5.4	▲6.3	▲3.4	▲18.5	9.2	5.0	▲6.9
身の回り品	▲3.3	▲4.1	▲3.5	▲11.6	▲24.0	8.7	2.0	2.6
飲食料品	1.5	0.1	1.9	1.0	▲4.3	4.4	3.5	0.8
家庭用品	▲9.6	▲8.1	▲8.4	▲9.3	▲27.9	11.5	5.7	▲0.5
うち家庭用電気機械器具	▲15.6	▲13.1	▲14.8	▲18.9	▲24.7	28.3	23.7	▲7.1

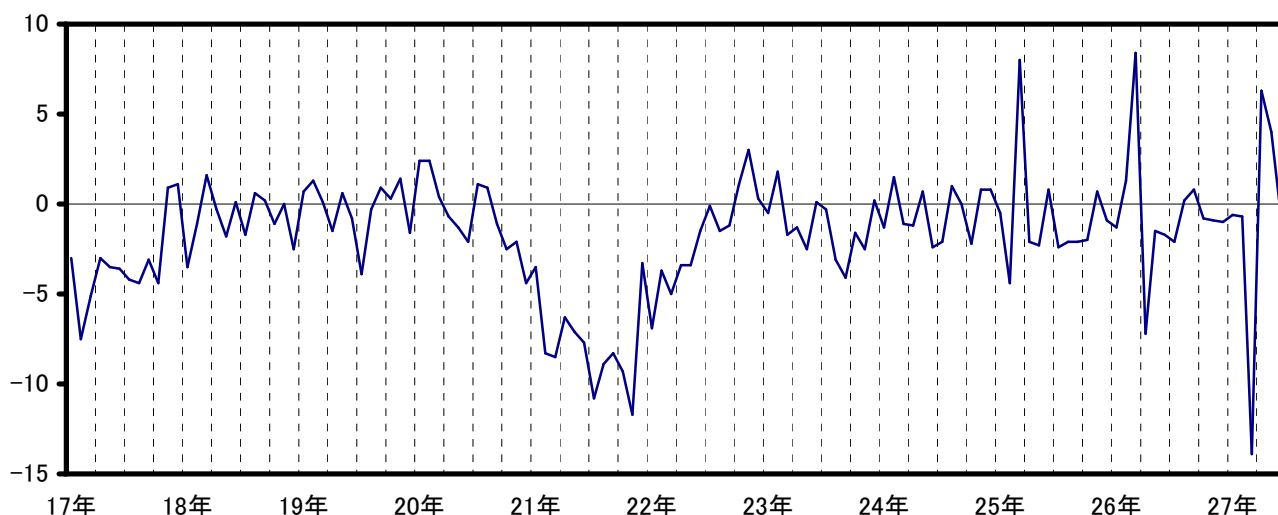
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

6月 = 6,068百万円

*前年同月比： 1.5%減

(県内3百貨店販売額)

<概況>

6月の県内3百貨店の販売額は6,068百万円で、3か月ぶりに前年実績を下回った。
 品目別にみると、身の回り品（前年同月比 1.0%増）、家庭用品（同 10.6%増）、雑貨（同 14.2%増）がいずれも3か月連続で前年実績を上回ったものの、衣料品（同 8.6%減）、食料品（同 3.0%減）がいずれも3か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
販売額（百万円）	6,921	9,275	7,119	5,500	7,011	5,876	6,097	6,068
前年同月比（%）	▲ 3.4	▲ 2.9	▲ 3.9	▲ 5.2	▲ 25.6	14.7	3.6	▲ 1.5
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 1.0	▲ 1.7	▲ 2.8	1.1	▲ 19.7	13.7	6.3	0.4

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

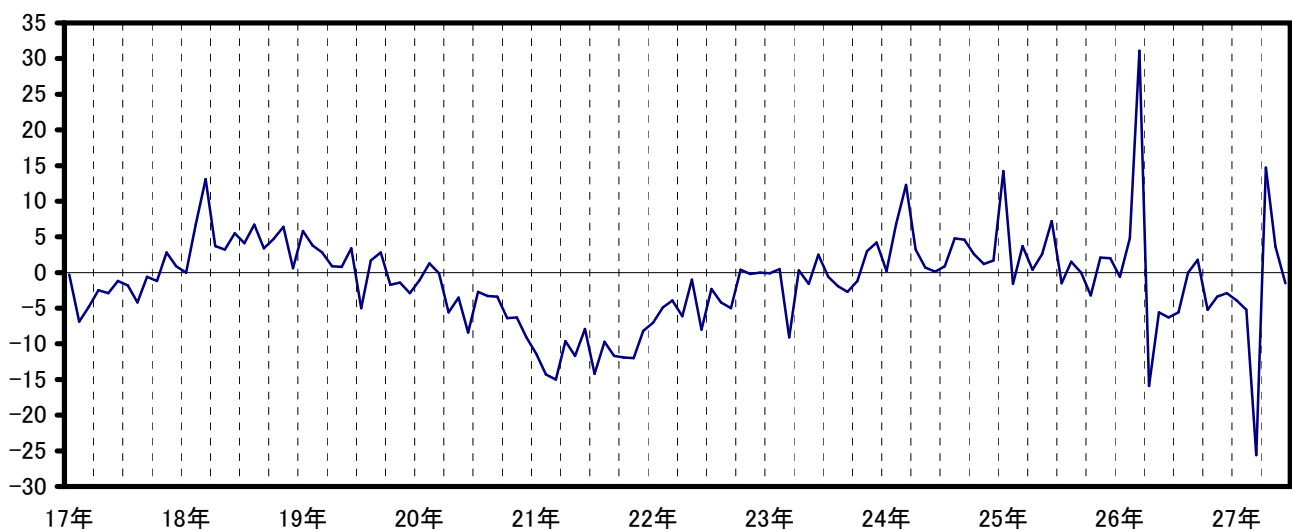
	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
衣料品	▲ 4.8	▲ 6.5	▲ 7.6	▲ 7.2	▲ 23.2	11.7	2.8	▲ 8.6
うち紳士服・洋品	▲ 2.0	▲ 3.7	▲ 6.4	▲ 1.6	▲ 14.5	9.4	4.4	▲ 7.4
婦人服・洋品	▲ 5.4	▲ 7.1	▲ 7.6	▲ 8.7	▲ 25.7	10.4	1.4	▲ 9.5
子供服・洋品	▲ 4.0	▲ 12.1	▲ 6.9	0.2	▲ 17.6	21.6	1.6	▲ 13.0
身の回り品	▲ 5.3	▲ 7.5	▲ 6.1	▲ 18.2	▲ 30.7	7.6	0.2	1.0
家庭用品	▲ 5.7	▲ 6.2	▲ 7.7	▲ 5.8	▲ 35.7	47.5	2.1	10.6
食料品	▲ 2.3	▲ 2.8	1.1	▲ 1.1	▲ 6.8	3.4	1.1	▲ 3.0
雑貨	1.1	9.6	4.5	▲ 1.8	▲ 44.1	47.9	15.2	14.2
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 5.3	21.0	13.2	▲ 6.9	▲ 56.6	71.2	25.2	18.9

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 自動車(新車)新規登録台数

6月 = 14,719台

*前年同月比： 0.3%減

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

6月の自動車(新車)新規登録台数は14,719台(前年同月比 0.3%減)となり、15か月連続で前年実績を下回った。

車種別にみると、乗用車(同 7.7%増)が2か月連続で前年実績を上回ったものの、軽自動車(同 8.4%減)が6か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
登録台数(台)	14,149	14,156	14,885	18,188	24,066	10,372	11,424	14,719
前年同月比(%)	▲ 8.0	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 16.0	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3
(参考)全国前年同月比(%)	▲ 10.2	0.3	▲ 20.7	▲ 17.8	▲ 11.9	▲ 10.1	▲ 8.2	▲ 3.8

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

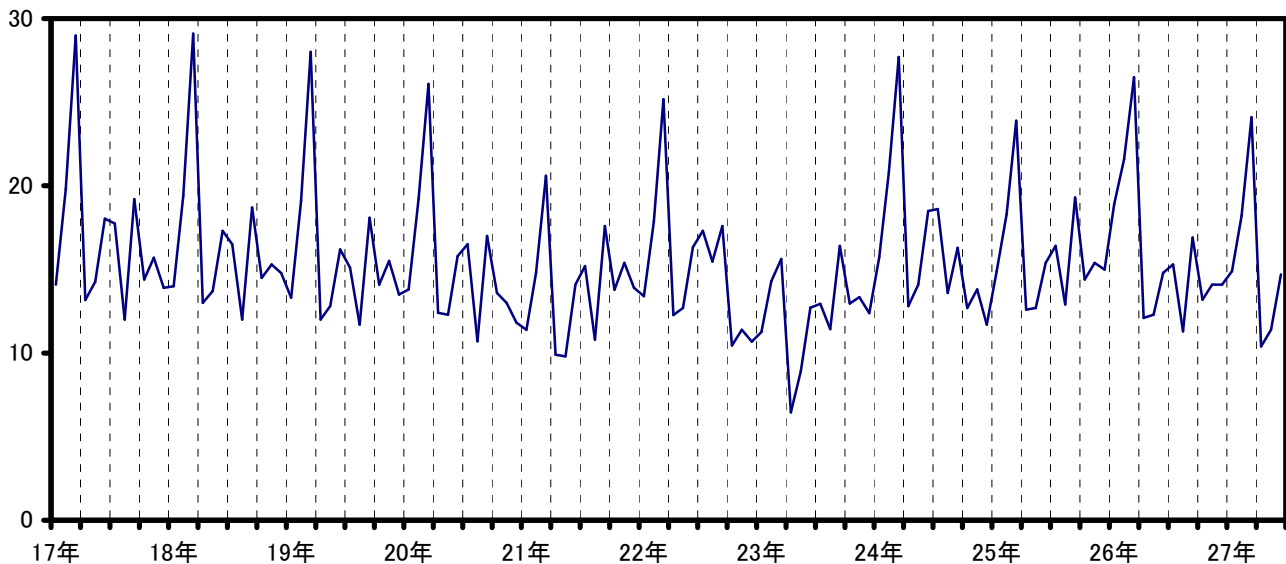
	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
全乗用車	▲ 8.0	▲ 5.4	▲ 21.3	▲ 16.0	▲ 9.3	▲ 14.2	▲ 6.8	▲ 0.3
乗用車	▲ 16.7	▲ 13.8	▲ 26.0	▲ 18.3	▲ 15.2	▲ 0.4	2.3	7.7
軽自動車	2.7	4.7	▲ 16.1	▲ 13.4	▲ 2.2	▲ 25.4	▲ 15.7	▲ 8.4

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

6月 = 2,255戸

*前年同月比： 7.2%減

<概況>

6月の新設住宅着工戸数は2,255戸で、前年同月比 7.2%減となり、2か月ぶりに前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比 18.0%増）が3か月ぶり、分譲住宅（同 8.3%増）が2か月連続で前年実績を上回ったものの、貸家（同 33.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

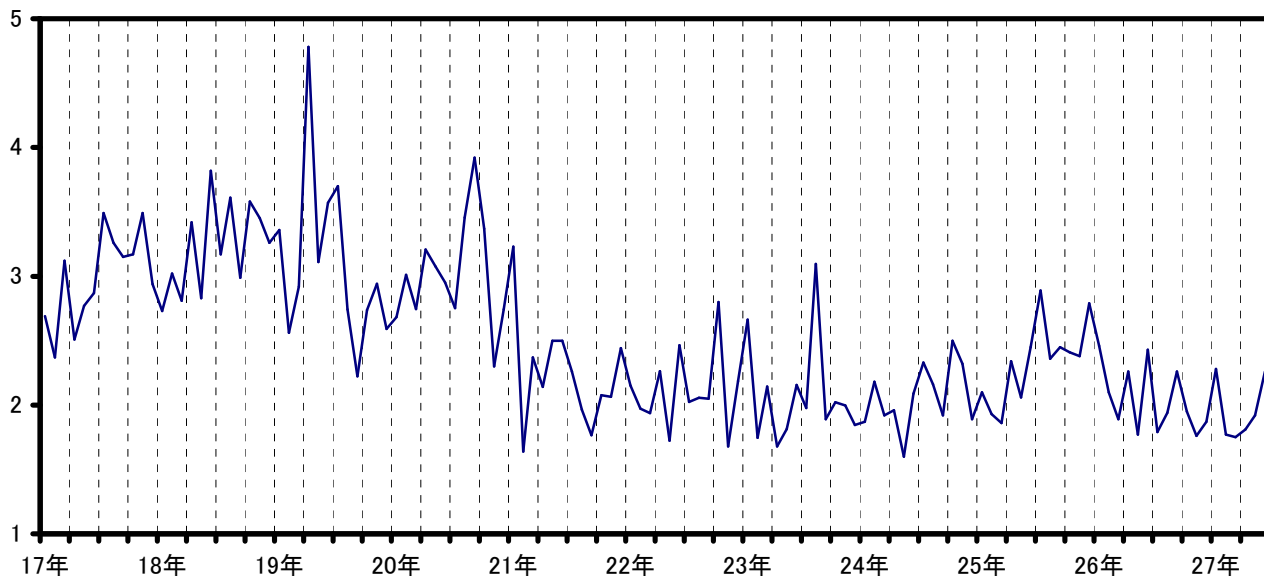
	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
戸数（戸）	1,756	1,871	2,278	1,771	1,751	1,805	1,915	2,255
前年同月比（%）	▲ 26.2	▲ 33.0	▲ 7.2	▲ 16.0	▲ 7.4	▲ 20.2	7.9	▲ 7.2
うち持家（%）	▲ 22.8	▲ 39.7	▲ 26.2	▲ 11.7	6.4	▲ 10.8	▲ 3.2	18.0
貸家（%）	▲ 24.3	▲ 24.0	▲ 22.7	▲ 40.6	▲ 20.4	▲ 17.4	9.6	▲ 33.4
分譲住宅（%）	▲ 38.7	▲ 26.4	161.9	96.0	▲ 20.7	▲ 48.5	69.1	8.3
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 14.3	▲ 14.7	▲ 13.0	▲ 3.1	0.7	0.4	5.8	16.3

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

6月 = 24,042百万円

*前年同月比：21.7%減

(建設保証会社保証実績)

<概況>

6月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は24,042百万円で、前年同月比21.7%減となり、6か月連続で前年実績を下回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は596件で、前年同月比18.6%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
金額(百万円)	14,446	15,445	9,478	8,099	15,112	39,163	23,823	24,042
前年同月比(%)	▲15.2	1.5	▲0.9	▲25.0	▲9.9	▲1.1	▲31.1	▲21.7
年度累計前年同月比(%)	▲1.1	▲0.9	▲0.9	▲1.9	▲2.3	▲1.1	▲15.1	▲17.0
件数(件)	685	749	462	288	183	461	363	596
前年同月比(%)	▲19.1	▲7.9	▲12.0	25.8	▲16.8	10.0	▲23.1	▲18.6
年度累計前年同月比(%)	▲4.7	▲5.0	▲5.5	▲4.6	▲4.9	10.0	▲7.5	▲12.5

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

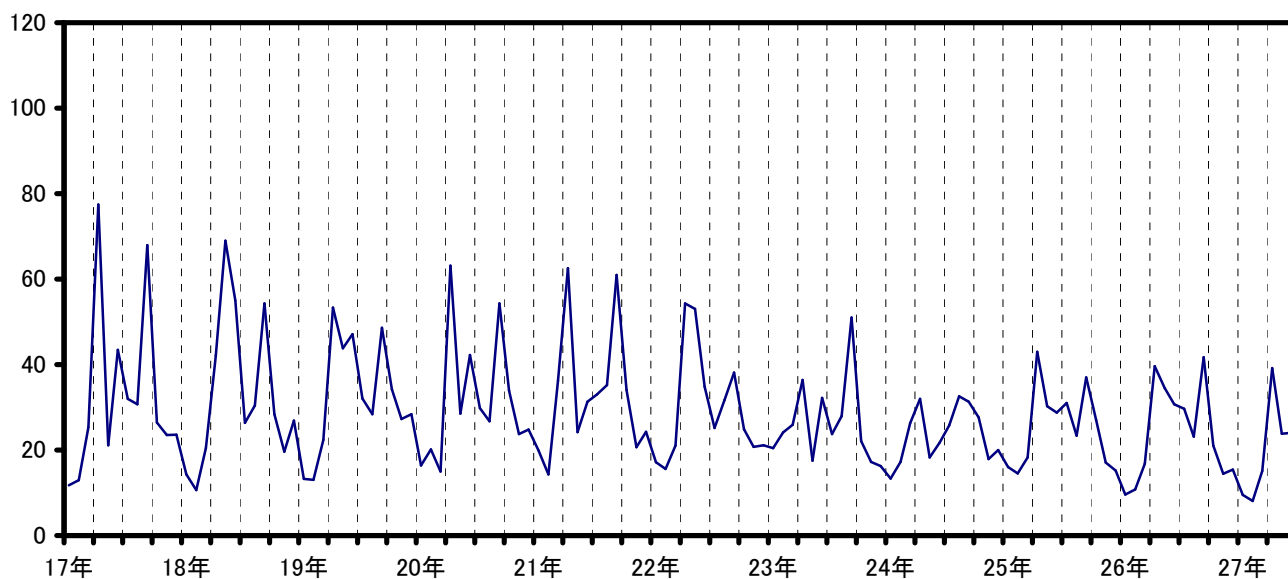
	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
国	206.1	343.1	▲2.4	▲57.4	▲2.9	▲23.5	▲47.6	▲6.9
独立行政法人等	▲4.4	▲78.4	1,452.9	65.6	▲62.8	37.9	▲1.5	148.1
県	▲31.0	▲18.1	▲36.3	3.1	9.4	▲15.7	▲57.2	▲6.8
市町	▲27.7	▲13.6	5.0	▲3.9	▲35.6	▲3.0	23.4	▲30.2
地方公社	—	▲25.5	▲44.2	—	—	—	—	▲91.8
その他	59.8	1,168.2	▲10.0	▲69.7	298.7	83.9	▲49.4	▲63.7

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成26年度の設備投資（実績）は、製造業（前年度比 13.8%増）で増加、非製造業（同 3.2%減）では減少となり、全産業（同 4.6%増）では増加となった。

平成27年度の設備投資（計画）は、製造業（前年度比 29.3%増）、非製造業（同 8.4%増）でも増加する計画となっており、全産業（同 18.9%増）でも増加する計画となっている。

6月の着工建築物床面積（非居住用）は132,924㎡で、前年同月比 24.3%減となり、7か月連続で前年実績を下回った。

<企業短期経済観測調査結果>

（前年度比%）

		26年度 （実績）	27年度 （計画）	前回調査 比修正率	上期	前回調査 比修正率	下期 （計画）	前回調査 比修正率
全 産 業	県	4.6	18.9	5.7	26.0	4.5	13.2	6.8
	全 国	4.3	3.4	8.7	12.9	8.5	▲ 4.0	8.8
製 造 業	県	13.8	29.3	10.8	51.3	9.3	14.1	12.2
	全 国	6.8	12.3	10.6	23.7	9.0	3.3	12.1
非 製 造 業	県	▲ 3.2	8.4	0.1	4.3	▲ 0.9	12.3	1.0
	全 国	3.1	▲ 1.0	7.6	7.6	8.3	▲ 7.6	7.1

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年6月調査）」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」（平成27年6月調査）」

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	156,017	104,484	71,788	83,413	61,410	105,169	99,993	132,924
前年同月比（%）	101.5	▲ 23.4	▲ 63.8	▲ 8.3	▲ 69.0	▲ 24.6	▲ 21.3	▲ 24.3
（参考）全国前年同月比（%）	▲ 10.9	▲ 17.3	▲ 16.4	9.4	▲ 18.9	2.2	4.1	▲ 11.3

（注）着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	27年3月	27年6月	27年9月 （予測）
全 産 業	1	3	3
製 造 業	4	3	5
非 製 造 業	▲ 2	3	3
（参考） 全 国 ・ 全 産 業	7	7	7

（注）業況判断D. I.：「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果（平成27年6月調査）」

5 輸出

6 月 = 169,021百万円

*前年同月比： 6.9%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸出総額は169,021百万円で、前年同月比 6.9%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。
 主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 19.9%減）が8か月連続、自動車（同 8.6%減）が2か月連続で前年実績を下回ったものの、原動機（同 18.1%増）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 11.7%増）が5か月ぶり、二輪自動車類（同 21.3%増）が12か月連続、科学光学機器（同 33.1%増）が4か月連続で前年実績を上回った。
 地域別にみると、アジア向け（同 4.4%増）が2か月ぶり、米国向け（同 5.4%増）が5か月ぶり、EU向け（同 16.5%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸出総額(百万円)	162,486	190,421	166,118	163,172	182,364	172,324	146,513	169,021
前年同月比(%)	▲0.6	7.7	11.1	▲3.6	0.6	▲4.5	▲8.7	6.9

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
原動機	19.3	13.8	9.8	▲6.9	7.0	▲0.1	▲8.3	18.1
エアコン	▲14.9	▲19.7	▲3.5	▲19.0	▲22.2	▲23.1	▲33.4	▲19.9
自動車	26.9	11.5	9.1	▲13.2	▲0.6	9.1	▲15.9	▲8.6
自動車の部分品	▲13.5	▲0.8	2.7	▲4.3	▲0.3	▲15.3	▲7.5	11.7
二輪自動車類	26.9	10.8	14.1	5.3	9.4	2.3	6.0	21.3
科学光学機器	4.1	19.5	37.7	▲9.4	11.0	32.3	43.3	33.1

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
アジア	▲4.3	4.6	16.6	▲4.3	1.6	1.5	▲2.1	4.4
米国	5.7	32.9	3.0	▲0.8	▲8.8	▲4.8	▲5.8	5.4
EU	▲6.9	▲17.6	12.4	▲6.2	7.6	▲16.2	▲11.5	16.5

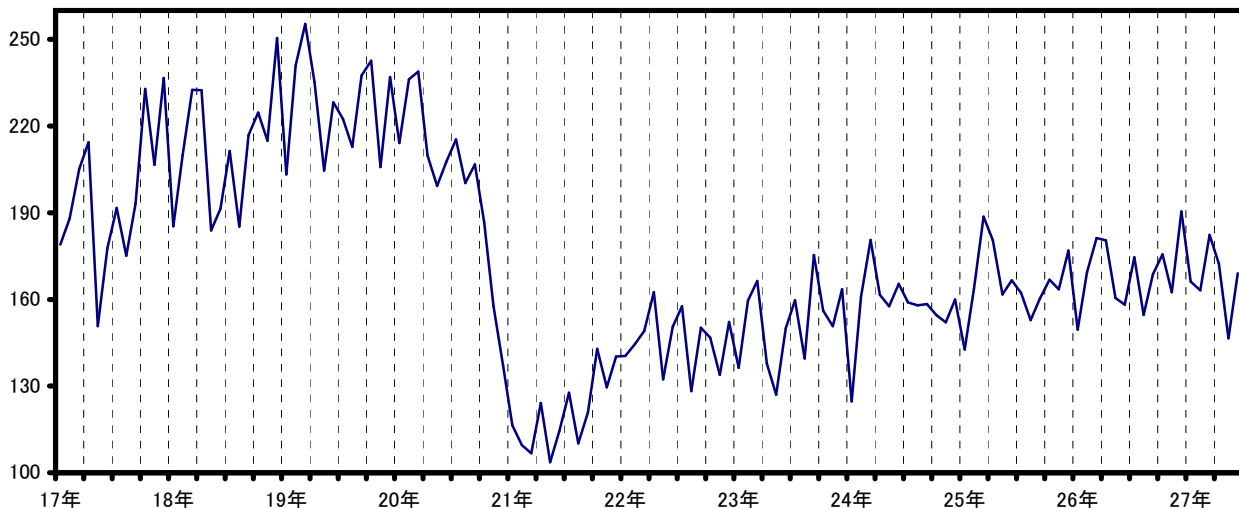
<資料>清水税関支署

(注)管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

6 月 = 81,809百万円

*前年同月比： 6.4%減

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

6月の清水税関支署管内の輸入総額は81,809百万円で、前年同月比 6.4%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

主要な品目別にみると、魚介類（前年同月比 3.1%増）が4か月連続、パルプ（同 23.1%増）が3か月ぶり、自動車の部分品（同 2.8%増）が5か月連続で前年実績を上回ったものの、木材（同 26.1%減）が2か月連続、紙類及び同製品（同 17.1%減）が4か月連続、原動機（同 68.2%減）が15か月連続で前年実績を下回った。

地域別では、米国から（同 23.1%増）が2か月ぶり、EUから（同 3.6%増）が20か月連続で前年実績を上回ったものの、アジアから（同 8.2%減）が2か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
輸入総額(百万円)	75,455	95,992	97,413	85,895	87,219	89,796	79,565	81,809
前年同月比(%)	▲ 1.5	20.1	14.4	9.0	0.9	1.2	▲ 2.4	▲ 6.4

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
魚 介 類	2.9	9.3	31.3	▲ 11.1	3.6	28.4	17.8	3.1
木 材	▲ 13.2	▲ 2.3	▲ 5.4	11.5	▲ 20.4	3.1	▲ 12.8	▲ 26.1
パ ル プ	▲ 1.6	▲ 2.9	10.7	17.7	2.8	▲ 4.4	▲ 21.1	23.1
紙 類 及 び 同 製 品	▲ 11.0	▲ 21.0	▲ 17.6	14.2	▲ 18.6	▲ 10.1	▲ 11.8	▲ 17.1
原 動 機	▲ 67.2	▲ 48.4	▲ 54.4	▲ 37.9	▲ 59.6	▲ 47.3	▲ 67.0	▲ 68.2
自 動 車 の 部 分 品	▲ 18.4	▲ 3.1	▲ 10.9	19.0	23.5	83.3	14.8	2.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

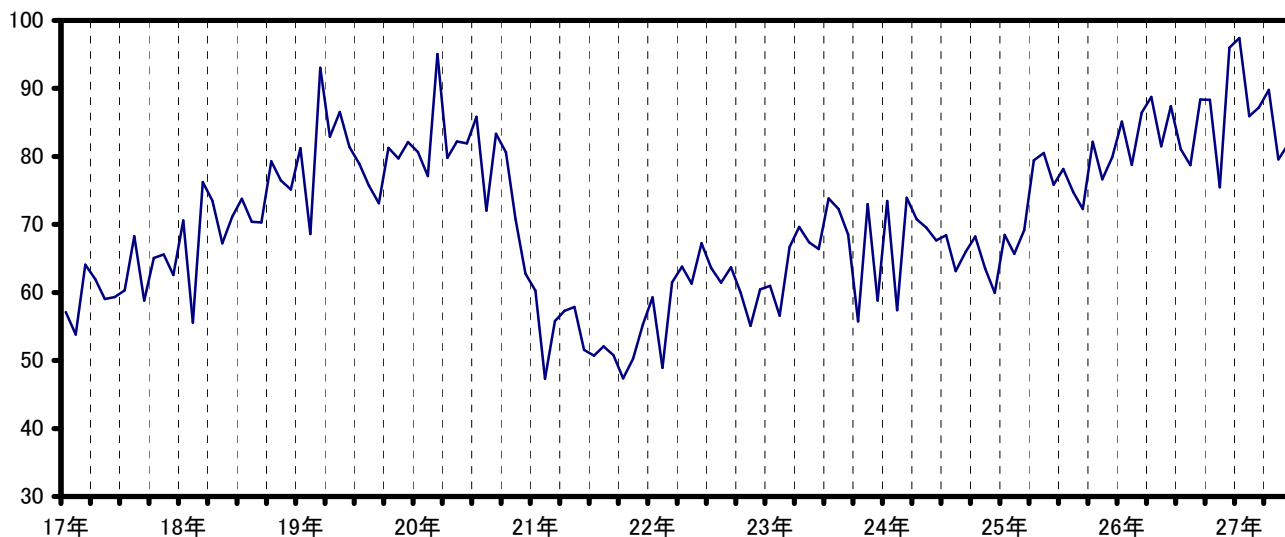
	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
ア ジ ア	▲ 0.4	16.3	▲ 0.2	23.5	▲ 18.7	3.2	▲ 5.7	▲ 8.2
米 国	▲ 30.7	31.2	▲ 17.1	11.1	6.8	11.4	▲ 1.4	23.1
E U	12.9	2.0	60.8	10.0	22.9	6.9	18.7	3.6

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 産業用大口電力消費量

6月 = 1,012,146千kWh

*前年同月比 4.0%減

(東京電力、中部電力合計)

<概況>

6月の産業用大口電力消費量は1,012,146千kWhで、前年同月比 4.0%減となり、11か月連続で前年実績を下回った。

産業別にみると、食品（前年同月比 0.9%増）が3か月連続で前年実績を上回ったものの、一般機械（同 5.8%減）が11か月連続、電気機械（同 0.8%減）が2か月連続、輸送機械（同 5.2%減）が6か月連続、化学（同 4.8%減）が3か月連続、パルプ・紙・紙加工品（同 11.3%減）が8か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
消費量(千kWh)	984,002	967,630	939,323	929,943	1,009,368	960,359	931,767	1,012,146
前年同月比(%)	▲ 2.3	▲ 1.4	▲ 3.3	▲ 3.4	▲ 1.7	▲ 2.8	▲ 5.7	▲ 4.0
全国10社前年同月比(%)	▲ 1.2	▲ 0.6	▲ 1.8	▲ 2.6	▲ 2.3	▲ 2.0	▲ 3.3	▲ 2.8

*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力、電気事業連合会

<県内産業別大口電力消費量前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
一般機械工業	▲ 6.4	▲ 3.3	▲ 3.7	▲ 4.3	▲ 3.7	▲ 4.7	▲ 3.0	▲ 5.8
電気機械工業	▲ 0.7	1.0	▲ 0.3	▲ 0.9	▲ 1.1	3.1	▲ 2.6	▲ 0.8
輸送機械工業	▲ 4.7	0.0	▲ 2.5	▲ 1.9	▲ 0.1	▲ 1.9	▲ 7.8	▲ 5.2
化学工業	▲ 0.6	▲ 1.2	▲ 0.7	▲ 0.7	5.1	▲ 2.8	▲ 12.2	▲ 4.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲ 0.6	▲ 5.3	▲ 14.4	▲ 12.9	▲ 9.6	▲ 8.6	▲ 10.1	▲ 11.3
食品工業	▲ 1.3	0.4	0.3	▲ 2.5	▲ 1.8	0.7	0.3	0.9

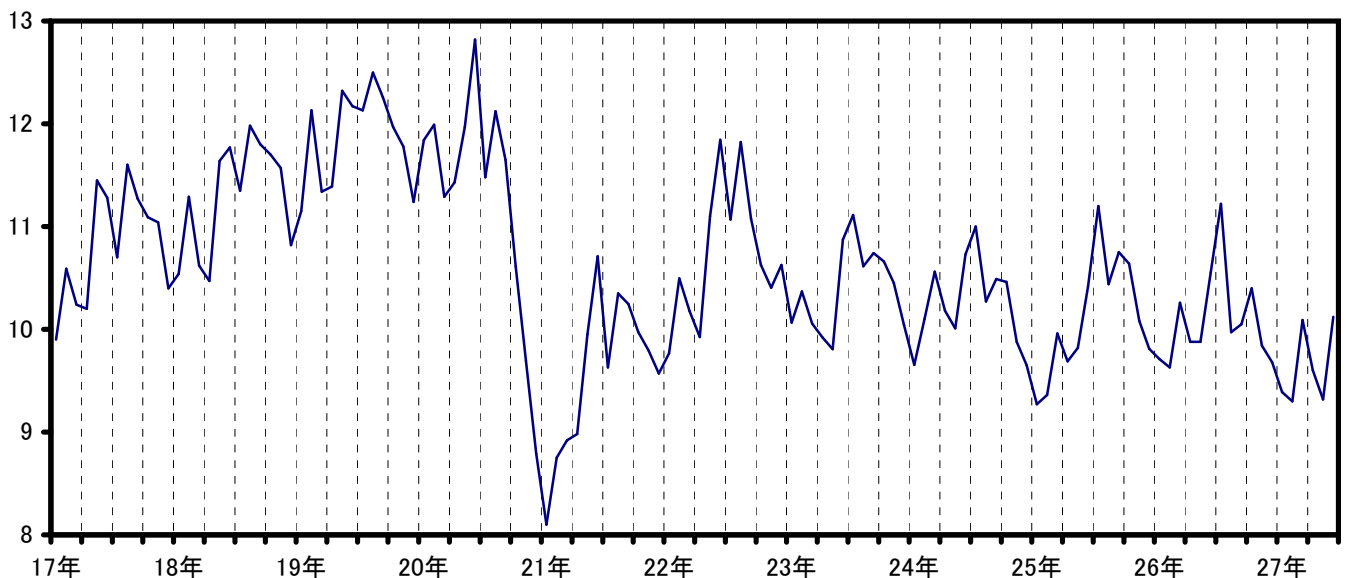
*産業用大口電力消費量=契約電力 500kW以上

<資料>東京電力、中部電力

<過去10年間の推移>

産業用大口電力消費量(億kWh)

<資料>東京電力、中部電力



(2) 鋳工業生産指数

5月 = 93.8

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 5.8%減

*前年同月比(原指数) : 4.2%減

<概況>

5月の鋳工業生産指数(総合)は93.8(季節調整済指数)で、前月比5.8%減となり、6か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は4.2%減と11か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、食料品・たばこ(前年同月比23.2%増)が12か月ぶりに前年水準を上回ったものの、はん用・生産用・業務用機械(同6.0%減)が6か月ぶり、電気機械(同4.2%減)が2か月ぶり、輸送機械(同16.0%減)が3か月連続、化学(同5.2%減)が2か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同8.2%減)が10か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
指数	93.2	90.5	93.2	97.4	98.3	98.3	99.6	93.8
前月比(%)	2.0	▲2.9	3.0	4.5	0.9	0.0	1.3	▲5.8
前年同月比(%)	▲4.5	▲6.8	▲2.8	▲7.6	▲1.9	▲2.0	▲2.4	▲4.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.0	▲3.8	0.3	▲2.6	▲2.6	▲1.2	▲0.1	▲4.0

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	13.5	▲7.3	10.9	2.5	16.8	2.1	7.9	▲6.0
電気機械工業	▲0.4	▲9.7	▲3.7	▲10.4	▲16.7	▲10.8	2.3	▲4.2
輸送機械工業	▲4.3	▲7.7	▲4.0	▲9.0	0.7	▲2.5	▲4.6	▲16.0
化学工業	▲19.6	▲1.3	8.4	▲10.7	2.8	5.9	▲2.1	▲5.2
パルプ・紙・紙加工品工業	▲2.4	▲2.7	▲4.9	▲6.0	▲3.7	▲2.0	▲3.4	▲8.2
食料品・たばこ工業	▲7.7	▲9.5	▲13.1	▲8.7	▲7.9	▲5.4	▲7.9	23.2

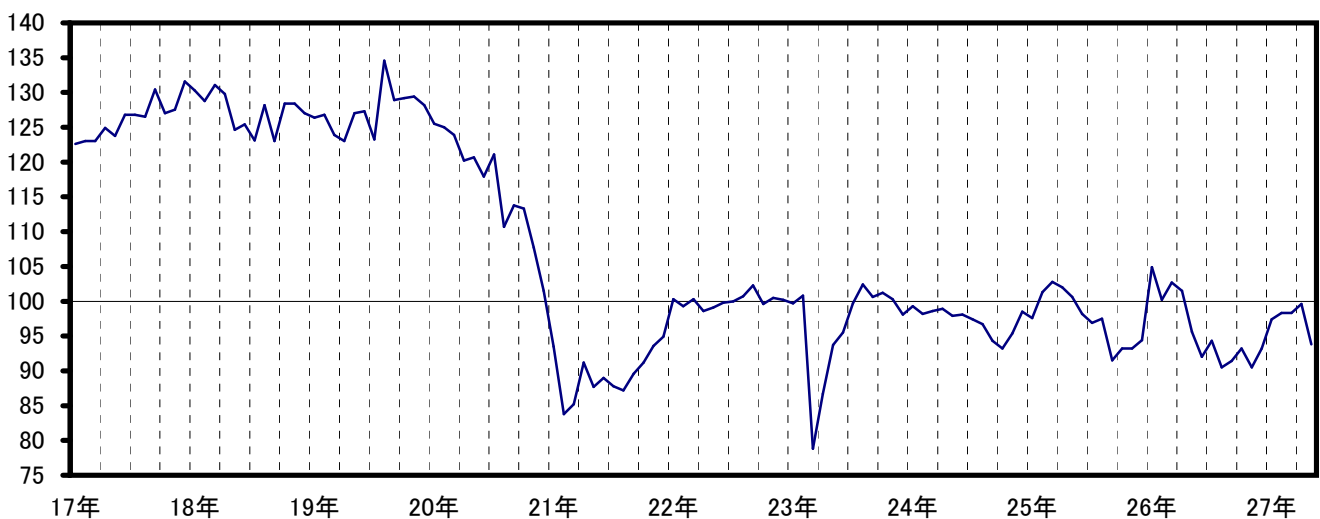
(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(3) 鉱工業在庫指数

5 月 = 111.5

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

* 前月比(季節調整済指数) : 0.4%減

* 前年同月比(原指数) : 2.4%増

<概況>

5月の鉱工業在庫指数(総合)は111.5(季節調整済指数)で、前月比は0.4%減と4か月ぶりに前月を下回った。また、前年同月比(原指数)は2.4%増と3か月連続で前年水準を上回った。なお、在庫動向を在庫循環図で見ると、今月は「在庫調整局面(景気後退期)」に該当する。業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比18.2%減)が8か月連続、化学(同6.8%減)が3か月ぶりに前年水準を下回ったものの、電気機械(同29.8%増)が17か月連続、輸送機械(同20.7%増)、パルプ・紙・紙加工品(同1.8%増)がいずれも4か月連続、食料品・たばこ(同7.3%増)が3か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
指数	103.7	102.9	101.3	100.4	102.4	110.1	111.9	111.5
前月比(%)	▲2.7	▲0.8	▲1.6	▲0.9	2.0	7.5	1.6	▲0.4
前年同月比(%)	1.0	0.9	▲1.0	▲6.6	▲1.2	3.7	7.8	2.4
(参考)全国前年同月比(%)	3.9	6.4	6.1	5.7	7.3	6.1	6.3	3.9

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
はん用・生産用・業務用機械工業	▲1.9	▲2.6	▲1.6	▲12.5	▲13.2	▲12.2	▲13.2	▲18.2
電気機械工業	35.5	29.6	34.6	21.2	22.5	28.2	32.3	29.8
輸送機械工業	▲6.8	▲3.2	▲27.4	▲22.6	35.1	17.2	82.5	20.7
化学工業	▲2.8	2.4	▲1.3	▲9.4	▲6.9	1.8	4.2	▲6.8
パルプ・紙・紙加工品工業	▲4.6	▲0.7	▲2.1	▲1.1	4.2	11.7	7.8	1.8
食料品・たばこ工業	8.7	2.4	▲2.6	▲8.4	▲1.4	4.8	11.0	7.3

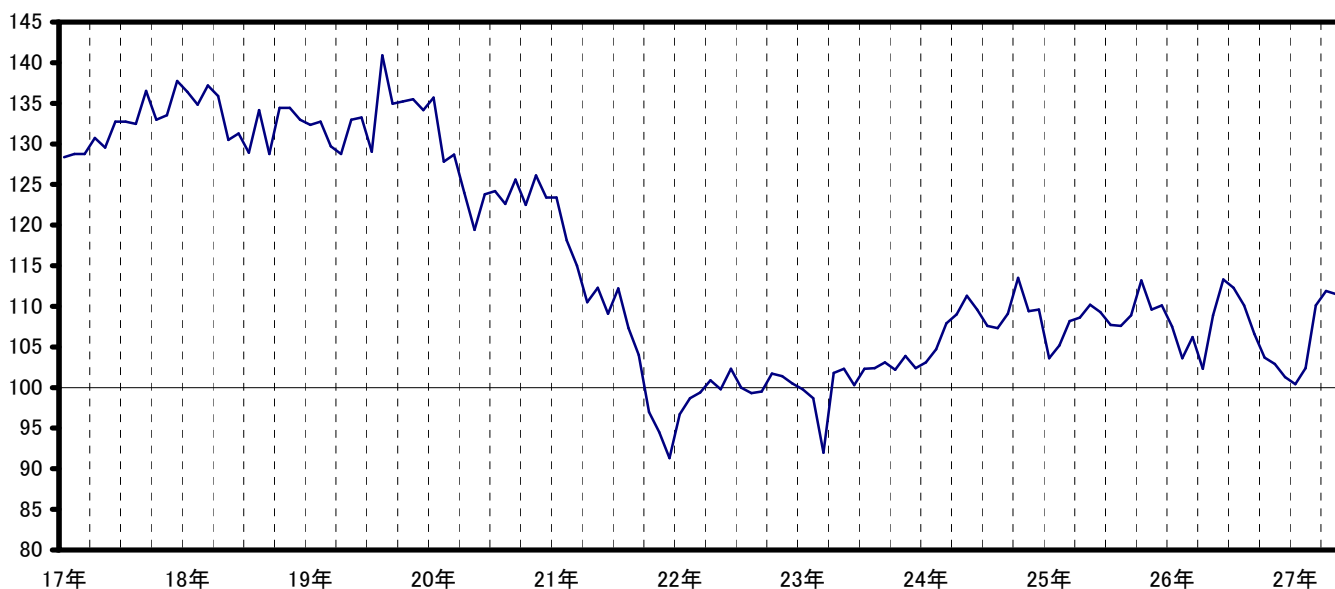
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

6 月 = 1.16倍

*前月比（季節調整値）：0.01ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概況>

6月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.16倍となり、前月を0.01ポイント上回った。また、6か月連続で全国値を下回った。

新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比5.7%増）は3か月ぶりに前年実績を上回った。

これを産業別にみると、製造業（同2.7%減）、情報通信業（同18.1%減）で前年実績を下回ったものの、建設業（同15.5%増）、運輸業・郵便業（同1.3%増）、卸売業・小売業（同33.9%増）、医療・福祉（同0.8%増）、サービス業（他に分類されないもの）（同16.1%増）で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
県	1.12	1.14	1.13	1.13	1.12	1.13	1.15	1.16
全 国	1.12	1.14	1.14	1.15	1.15	1.17	1.19	1.19

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
建設業	3.5	▲2.7	0.9	1.4	11.1	▲4.4	▲5.2	15.5
製造業	12.1	11.4	▲1.5	9.3	1.7	▲0.3	▲6.5	▲2.7
情報通信業	19.1	87.2	32.2	29.3	▲4.4	34.2	▲9.4	▲18.1
運輸業・郵便業	▲8.2	9.3	▲1.1	▲7.6	17.8	0.3	▲17.4	1.3
卸売業・小売業	49.1	26.7	▲37.1	5.4	6.8	▲22.3	11.5	33.9
医療・福祉	13.5	24.6	13.5	2.0	6.1	▲8.4	9.9	0.8
サービス業（他に分類されないもの）	▲3.5	8.2	34.1	12.5	19.1	▲9.9	▲17.3	16.1
合 計	7.5	13.6	4.7	0.6	6.5	▲5.2	▲3.3	5.7

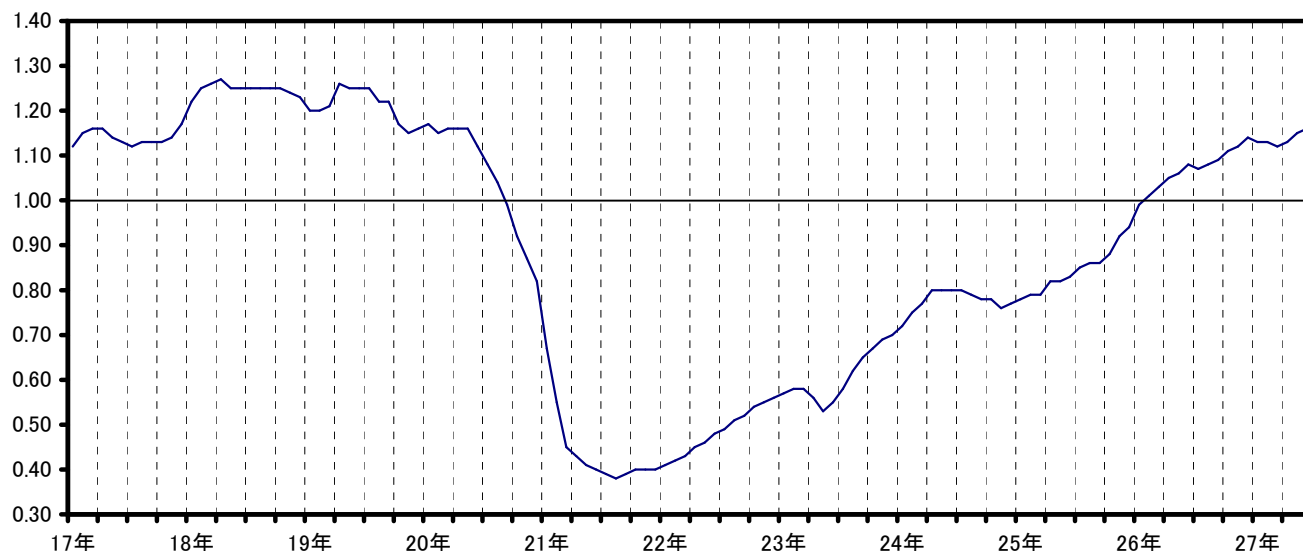
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

6月 = 14,561人

*前月比: 5.7%増

*前年同月比: 4.7%減

<概況>

6月の雇用保険受給者実人員は14,561人で、前月比は5.7%増と2か月連続で前月を上回った。また、前年同月比は4.7%減と23か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は3.4%で、前月から0.1ポイント悪化した。
 静岡県(平成27年1~3月)の完全失業率は2.5%で、前期(26年10~12月)と同水準だった。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
実人員(人)	14,160	13,847	13,925	13,190	12,934	12,750	13,771	14,561
前月比(%)	▲9.5	▲2.2	0.6	▲5.3	▲1.9	▲1.4	8.0	5.7
前年同月比(%)	▲8.2	▲6.7	▲7.0	▲5.3	▲2.7	▲6.4	▲8.7	▲4.7
(参考)全国前年同月比(%)	▲11.2	▲8.2	▲9.5	▲7.5	▲5.3	▲6.5	▲12.6	▲5.8

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完全失業率(全国)(%)	3.5	3.4	3.6	3.5	3.4	3.3	3.3	3.4

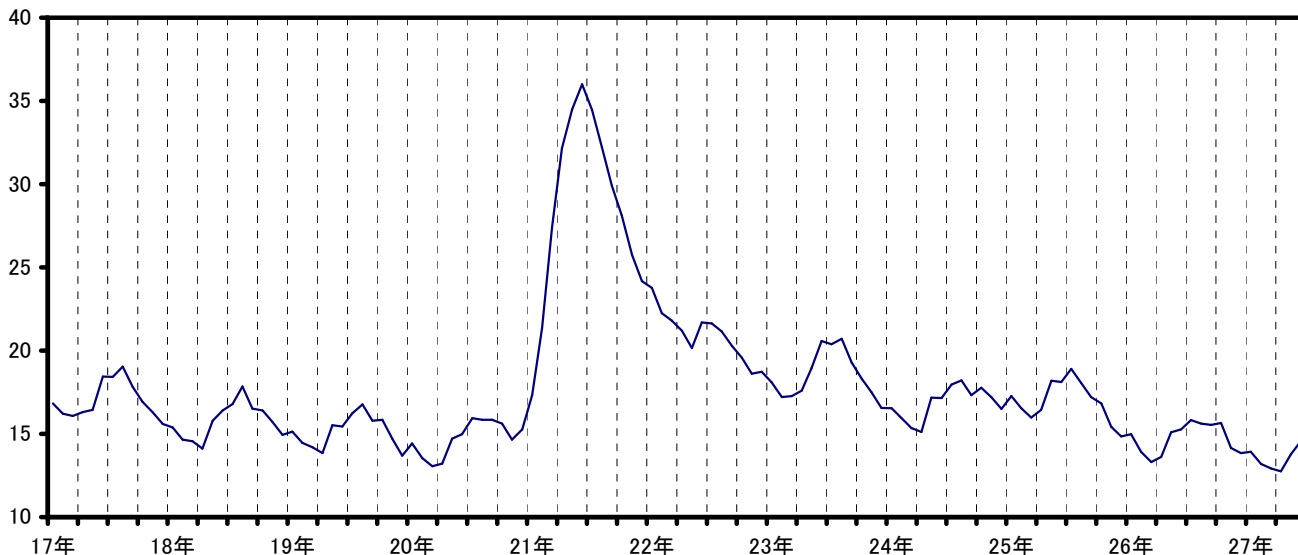
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

5月 = 102.0

*前月比(季節調整済指数): 5.0%減

(平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 1.8%減

<概況>

5月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は102.0(季節調整済指数)で、前月比5.0%減となった。また、前年同月比(原指数)は1.8%減となり、3か月連続で前年水準を下回った。

業種別にみると、製造業(前年同月比1.5%増)が2か月ぶり、情報通信業(同1.4%増)が2か月連続で前年水準を上回ったものの、建設業(同18.0%減)が5か月ぶり、運輸業・郵便業(同4.4%減)が2か月連続、卸売業・小売業(同13.0%減)が4か月連続、医療・福祉(同1.1%減)が3か月連続、その他サービス業(同5.4%減)が38か月連続で前年水準を下回った。

<最近の動き>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
指数	107.3	107.4	110.7	111.9	113.3	111.6	107.4	102.0
前月比(%)	▲0.6	0.1	3.1	1.1	1.3	▲1.5	▲3.8	▲5.0
前年同月比(%)	2.9	▲0.7	2.9	3.7	3.4	▲1.7	▲1.1	▲1.8
(参考)全国前年同月比(%)	0.6	0.5	1.3	0.6	0.5	▲1.9	▲1.2	▲1.2

*平成22年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月
建設業	▲18.9	2.3	▲1.0	10.4	15.0	38.6	50.3	▲18.0
製造業	0.4	1.4	3.2	5.0	7.2	1.7	▲2.4	1.5
情報通信業	4.4	▲41.6	▲27.4	▲36.5	20.2	▲2.1	46.6	1.4
運輸業・郵便業	17.2	15.2	3.4	2.0	2.2	4.5	▲2.4	▲4.4
卸売業・小売業	5.6	1.4	▲3.7	8.0	▲1.6	▲20.1	▲19.4	▲13.0
医療・福祉	9.6	2.4	11.0	1.8	18.4	▲3.1	▲1.3	▲1.1
その他のサービス業	▲18.9	▲27.8	▲13.8	▲15.7	▲23.7	▲28.4	▲8.7	▲5.4
調査産業計	2.9	▲0.7	2.9	3.7	3.4	▲1.7	▲1.1	▲1.8

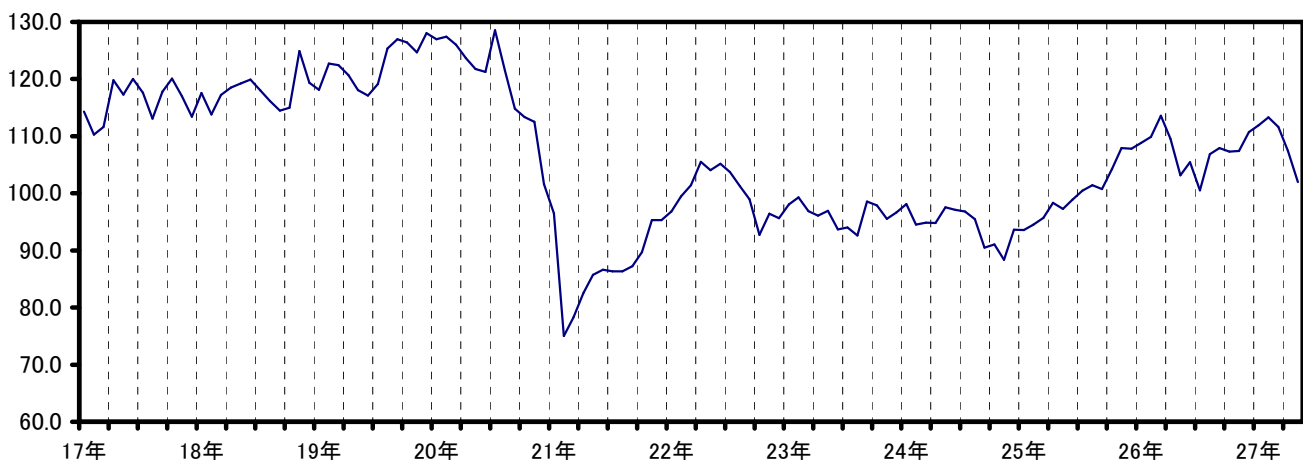
*平成22年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

(1) 国内企業物価指数

7 月 = 103.4

*前 月 比: 0.2%下落

*前年同月比: 3.0%下落

(平成22年=100)

<概 況>

7月の国内企業物価指数は103.4となり、前月比は0.2%の下落となった。また、前年同月比は3.0%の下落となった。

<最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
国内企業物価指数	104.7	103.3	103.2	103.5	103.6	103.8	103.6	103.4
前 月 比 (%)	▲ 0.5	▲ 1.3	▲ 0.1	0.3	0.1	0.2	▲ 0.2	▲ 0.2
前年同月比 (%)	1.8	0.3	0.4	0.7	▲ 2.1	▲ 2.2	▲ 2.4	▲ 3.0

*平成22年=100

<資料>日本銀行

(2) 消費者物価指数(総合)

7 月 = 103.4

*前 月 比: 0.4%下落

*前年同月比: 0.2%下落

(平成22年=100)

<概 況>

7月の消費者物価指数(総合)は103.4となり、前月比は0.4%の下落となった。また、前年同月比は0.2%の下落となった。

<最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
消費者物価指数	102.9	102.9	102.8	103.2	103.7	104.0	103.8	103.4
前 月 比 (%)	▲ 0.1	0.0	▲ 0.1	0.4	0.5	0.3	▲ 0.2	▲ 0.4
前年同月比 (%)	2.2	2.3	2.2	2.4	0.7	0.5	0.3	▲ 0.2

*平成22年=100

<資料>県統計調査課

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

6 月 = 132,695億円

*前 月 比: 同水準

*前年同月比: 1.9%増

(銀行、信用金庫)

<概 況>

6月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は132,695億円で、前月と同水準だった。前年同月比は1.9%増となった。

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出残高(億円)	131,751	133,572	132,402	132,274	134,686	132,750	132,694	132,695
前 月 比 (%)	0.5	1.4	▲ 0.9	▲ 0.1	1.8	▲ 1.4	0.0	0.0
前年同月比 (%)	3.2	3.2	3.4	3.2	2.6	2.8	2.6	1.9

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

6 月 = 2.153%

*前 月 差: 0.016ポイント増

*前年同月差: 0.077ポイント増

(県内地銀4行総平均)

<概 況>

6月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.153%で、前月から0.016ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.077ポイントのプラスとなった。

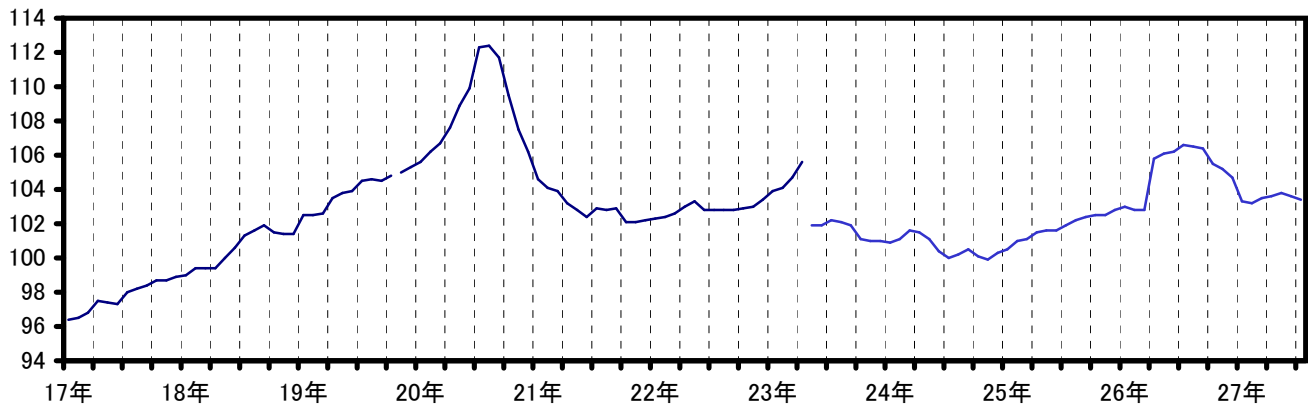
	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
貸出約定金利(%)	2.126	2.118	2.131	2.142	2.124	2.137	2.137	2.153
前月差(ポイント)	0.002	▲ 0.008	0.013	0.011	▲ 0.018	0.013	0.000	0.016
前年同月差(ポイント)	0.044	0.048	0.021	0.036	0.044	0.039	0.044	0.077

<資料>日本銀行静岡支店

<過去10年間の推移>

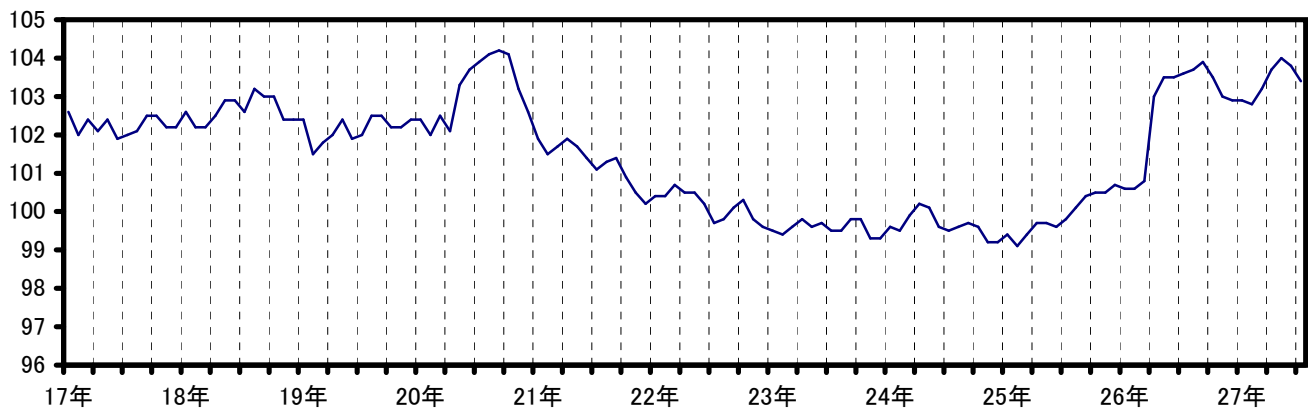
国内企業物価指数(平成22年=100)

<資料>日本銀行



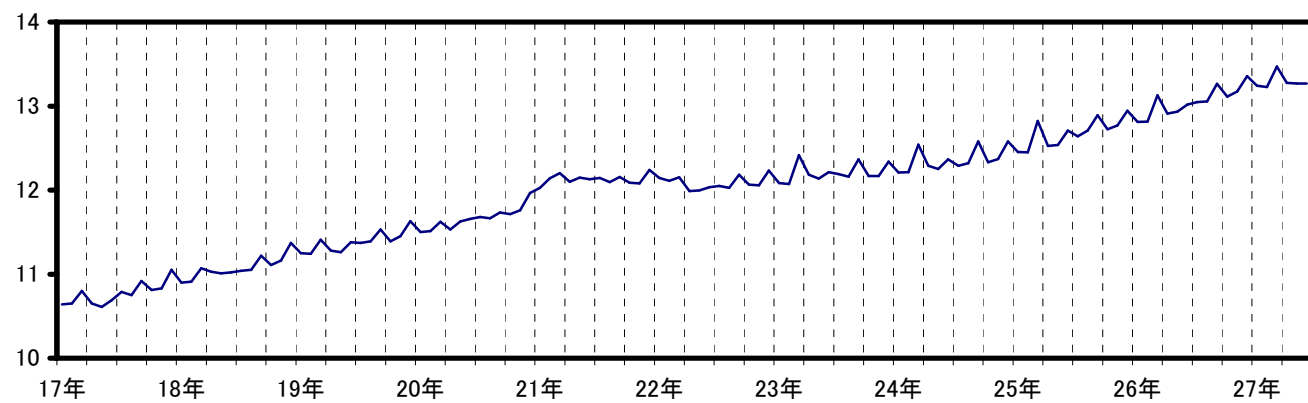
消費者物価指数(平成22年=100)

<資料>県統計調査課



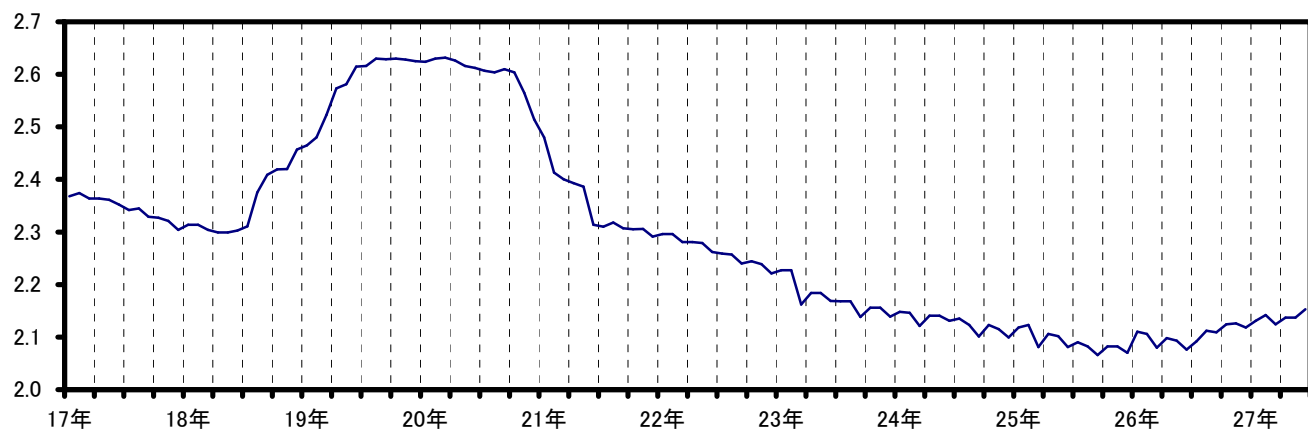
県内金融機関貸出残高(兆円)

<資料>日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

<資料>日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**6月 = 23,995百万円**

*前年同月比： 5.8%減

<概況>

6月の保証承諾は、金額が23,995百万円（前年同月比 5.8%減）と32か月連続で前年実績を下回り、件数は2,639件（同 2.6%減）と3か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	26年11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
保証金額（百万円）	21,189	30,756	18,715	21,165	30,874	16,893	17,308	23,995
前年同月比（%）	▲ 18.6	▲ 8.7	▲ 2.7	▲ 2.4	▲ 7.6	▲ 1.3	▲ 22.6	▲ 5.8
保証件数（件）	2,165	3,173	1,941	2,340	3,215	1,857	1,956	2,639
前年同月比（%）	▲ 19.5	▲ 6.0	▲ 8.8	▲ 3.0	0.4	▲ 4.1	▲ 16.7	▲ 2.6

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**7月 = 123.23円/ドル**

*前月差： 0.52円高

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 21.51円安

<概況>

7月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は123.23円で、前月と比べて0.52円の円高となり、3か月ぶりに円高となった。

<最近の動き>

	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
平均相場（円）	119.40	118.24	118.57	120.39	119.55	120.74	123.75	123.23
前月差（円）	3.18	▲ 1.16	0.33	1.82	▲ 0.84	1.19	3.01	▲ 0.52
前年同月差（円）	15.94	14.30	16.44	18.12	16.99	18.95	21.70	21.51

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****7月 = 23件**

*前年同月比： 17.8%減

<概況>

7月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は23件で前年実績を下回り、負債総額は3,985百万円で前年実績を下回った。

原因別にみると、既往のシワ寄せ、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が19件と全体の82.6%を占め、212か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

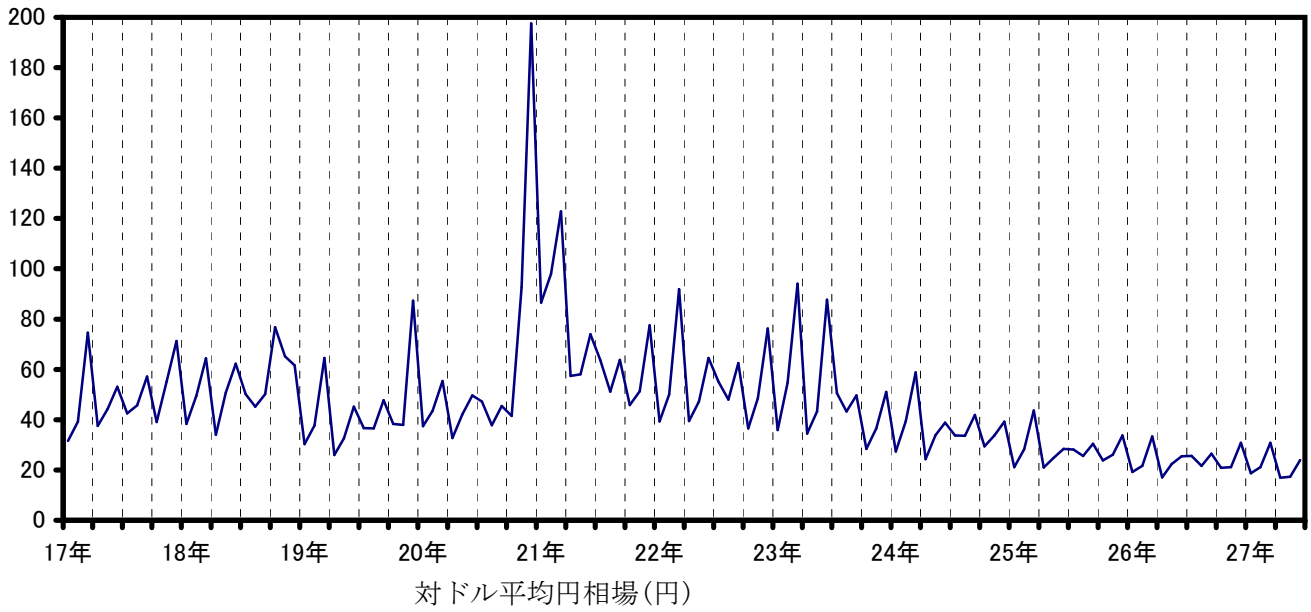
	26年12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
倒産件数（件）	22	25	18	23	25	21	21	23
前年同月比（%）	▲ 26.6	8.6	▲ 30.7	▲ 14.8	8.6	10.5	▲ 32.2	▲ 17.8
うち不況型倒産件数（件）	17	20	13	21	20	13	16	19
負債総額（百万円）	3,941	6,396	1,965	2,983	4,007	2,878	8,601	3,985
前年同月比（%）	▲ 34.1	92.7	▲ 52.2	▲ 21.0	43.5	▲ 6.7	112.0	▲ 5.2

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

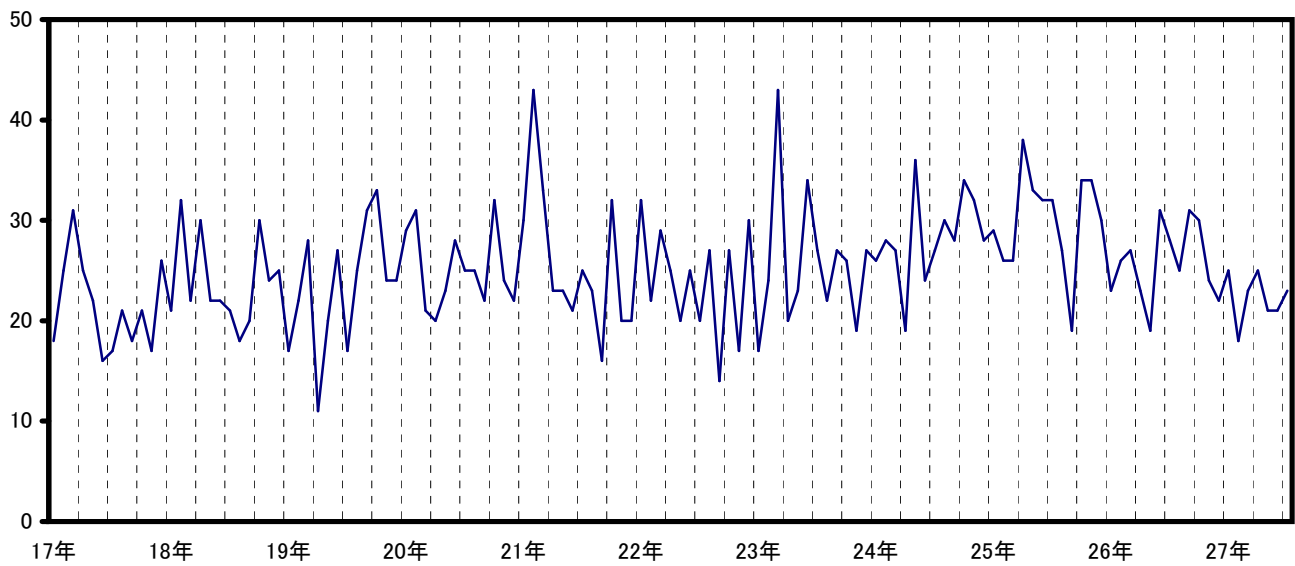
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成27年6月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車 二輪車部品	<p>6月の国内二輪車生産台数は、34,973台（前年同月比21.6%減）で、8か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは31,561台（同1.7%増）で、2か月ぶりに前年実績を上回った。車種別では、原付第二種（51～125cc以下）が8,296台（同11.8%増）、小型二輪車（251cc以上）が3,709台（同13.7%増）と好調であった。</p> <p>一方、輸出向けは25,354台（同18.3%減）で、2か月ぶりに前年実績を下回った。車種別では、原付第二種のみが2,933台（同54.5%増）と前年実績を上回り、また、地域別では、アフリカ向けは1,618台（同53.7%増）と好調であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車 自動車部品	<p>6月の自動車国内生産台数は811,864台（前年同月比5.3%減）となり、12か月連続で前年実績を下回った。また、輸出は403,730台（同3.3%増）となり、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、乗用車、トラックとも前年実績を下回り、全体でも12か月連続で前年実績を下回っている。</p> <p>輸出は、欧州向けが10か月連続で前年実績を下回ったものの、北米向けが4か月連続で前年実績を上回ったことから、全体では2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>6月の冷蔵庫の国内出荷額は488億8,000万円（前年同月比9.0%増）、また、国内出荷台数は409千台（同2.5%増）で、ともに2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>6月のエアコンの国内出荷台数は、天候不順の影響があり、家庭向けは1,446千台（同4.3%減）で、2月ぶりに前年実績を下回った。業務用も、78千台（同8.8%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>5月の携帯電話と公衆用PHSを合わせた移動電話の国内出荷台数は、1,154千台（同31.5%減）と2か月連続で前年実績を下回った。うち、スマートフォンは、533千台（同32.7%減）となり、また、単月のスマートフォン比率は46.2%であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、JEITA/CIAJ</p>
生産用 機械	<p>6月の工作機械の受注総額は、1,361億700万円（前年同月比6.6%増）と、21か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は758億600万円（同10.8%減）で、前年実績を下回った。また、内需は603億100万円（同41.4%増）と前年実績を上回り、特に、一般機械が259億1,000万円（同54.5%増）、電気・精密機械が55億8,000万円（同63.3%増）と好調であった。</p> <p>一方、県内中小企業からは、緩やかに仕事量が増加しているように思えるが、実感するには至っておらず、利益の増加にもつながっていないとの声も聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>6月の県内楽器メーカーの販売金額は、59億3,400万円（前年同月比 7.5%減）で、9か月連続で前年実績を下回った。内訳は輸出向けが33億1000万円（同 0.4%増）で、国内向けが26億2,400万円（同15.8%減）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は3,209台（同 3.5%減）で、3か月連続で前年実績を下回った。機種別では、アップライトピアノが2,005台（同 4.1%減）、グランドピアノが1,204台（同 2.4%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが2,069台（同 5.6%増）、国内向けが1,261台（同11.5%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>6月の紙・板紙の国内出荷高は、2,031千トﾝ（前年同月比 0.2%増）で、前月の減少から増加に転じ、前年実績を上回った。内訳は、紙は1,097千トﾝ（同 2.8%減）で、15か月連続で前年実績を下回り、板紙は933千トﾝ（同 4.0%増）で、前月の減少から増加に転じ、前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、591千トﾝ（同 3.3%減）と15か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、142千トﾝ（同 5.9%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会</p>
缶詰・飲料	<p>6月の県内生産量は、食缶類が国内向け1,049千箱（前年同月比16.2%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は790千箱（同16.2%増）と5か月連続で前年実績を上回った。うち主力であるツナ缶も586千箱（同 15.9%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は259千箱（同16.4%増）と、4か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,765千箱（同 3.7%減）で、12か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>6月の広幅織物の県内生産は、1,225千㎡（前年同月比 0.6%減）であった。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,165千㎡（同 1.0%増）であり、別珍・コールテンの生産は、60千㎡（同24.6%減）であった。</p> <p>小幅織物の県内生産は、38千㎡（同 3.9%減）であった。</p> <p>産地では、引き続き、生産量が減少傾向にある。このため、6月は、静岡県産品として県が認定した「ふじのくにシャツ」を官民挙げて県民へ積極的に広報するなど、地産地消の活動を続けている。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>

業 種	産 業 動 向
家 具	<p>6月の全国百貨店での家具販売額は、55億9,400万円（前年同月比 2.3%増）で、また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、477億8,600万円（同 4.4%減）であった。</p> <p>こうした中、県内業界では、6月9日からの5日間、ツインメッセ静岡において、今年の新作家具等を展示する国内最大級の家具見本市「シズオカ[KAGU]メッセ2015」を開催した。今年、家具メッセは、約3,000点の商品が展示され、また、来場者数は昨年より大幅に増え、約13,000人に上った。世界的なプロダクトデザイナーの喜多俊之氏の監修の下、リノベーション市場向けに開発した家具も発表された。</p> <p>＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、静岡県地域産業課</p>
小 売 業	<p>6月の県内百貨店の売上高は、前年より日曜日が1日減少したことや、梅雨による気温の低さなどの影響もあり、3ヶ月ぶりに前年を下回った。</p> <p>また、ある百貨店からは、一部富裕層を対象とした特選ブティックや外商などで衣料品が好調であるが、全体として売上げは、まだ消費税率引上げ前までの回復には至っていないという声が聞かれた。</p> <p>6月の食品スーパーへの聞き取りでは、野菜の相場高などにより客単価は増加したが、来店客数の前年割れなどが影響し、売上高は対前年比でマイナスとなった。</p> <p>6月の県内の商店街では、地方経済の活性化を図るため発行されるプレミアム付商品券が県内の多くの市町で販売されたことを受け、販売促進の為にのぼりやポスターによる掲示を行っている。また、商店街への空き店舗状況の聞き取りでは、物販など日中営業の店舗撤退後は夜間営業の居酒屋などが出店し、商店街の雰囲気を変化しているという声が聞かれた。</p> <p>＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>6月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約34万人で、前年同月比22.6%の減となった。昨年同時期に実施されていた「浜名湖花博2014」が閉幕したことにより、西部地域の入込客数は減少したものの、例年よりは増加傾向であった。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両は、約62万台と前年同月比0.7%の減となった。</p> <p>＜資料＞静岡県観光政策課</p>

= IVデータからみた県内主要産業 =

<二輪車>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
完成車生産台数(台)	25,301	22,094	21,785	19,802	21,173	21,577	15,496	13,721	13,417
前年同月比(%)	29.0	9.6	18.2	12.4	2.7	6.4	17.1	▲5.0	▲2.6
KD輸出額(百万円)	1,018	1,151	1,194	1,127	1,010	1,030	1,020	937	822
前年同月比(%)	▲10.5	▲6.4	18.2	8.0	4.7	17.5	▲16.7	▲11.3	▲32.0

<楽器>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産総額(百万円)	3,846	3,429	3,467	3,384	3,419	3,662	3,946	3,720	4,264
前年同月比(%)	▲2.2	▲12.1	▲5.0	▲4.5	▲3.0	17.1	▲12.5	▲14.8	▲9.3

<缶詰>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
食缶生産高(千ケース)	903	859	755	790	889	930	925	893	1,059
前年同月比(%)	▲0.9	▲7.1	▲6.1	▲3.8	15.5	▲4.8	▲3.7	▲2.8	16.9
うち水産缶詰(%)	5.8	▲2.2	▲5.9	0.9	12.8	2.7	1.9	3.7	17.0
農畜産缶詰(%)	▲18.9	▲20.9	▲6.6	▲15.7	23.1	▲24.1	▲19.4	▲21.0	16.4
飲料缶生産高(千ケース)	6,252	6,943	6,593	4,946	5,202	6,976	7,891	7,820	8,765
前年同月比(%)	▲22.1	▲15.5	▲10.2	▲14.3	▲26.9	▲18.6	▲9.6	▲15.6	▲3.7

<繊維>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
広幅織物(千㎡)	1,430	1,580	1,535	1,443	1,508	1,519	1,519	1,222	1,225
前年同月比(%)	▲5.9	▲4.7	▲5.4	▲11.6	▲5.3	▲3.7	▲1.7	▲2.8	▲0.6
小幅織物(千㎡)	38	36	37	36	38	38	39	40	38
前年同月比(%)	▲19.4	▲23.5	▲21.1	▲3.7	6.3	▲1.7	10.4	6.3	▲3.9

<観光>

	26年10月	11月	12月	27年1月	2月	3月	4月	5月	6月
観光施設(10施設)入込 (千人)	357	401	218	252	244	470	442	671	344
前年同月比(%)	▲5.2	▲2.4	▲16.3	▲11.5	30.4	27.5	▲31.9	▲25.1	▲22.6
有料道路(5路線)通行量 (千台)	649	696	674	623	606	762	650	717	624
前年同月比(%)	17.7	16.5	18.0	15.2	17.3	0.0	▲3.1	▲5.9	▲0.7

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・百貨店販売額	・産業用大口電力消費量	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・雇用保険受給者実人員	・消費者物価指数
・自動車新規登録台数	・鉱工業在庫指数	・完全失業率	・県内金融機関貸出残高
・新設住宅着工戸数		・所定外労働時間指数	・信用保証協会保証金額
・清水税関支所管内輸出額			・企業倒産件数
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/statat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
消費者物価	総務省統計局	http://www.stat.go.jp/
家計調査		
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成27年8月号 通巻472号

発行 静岡県経済産業部
平成27年8月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>